

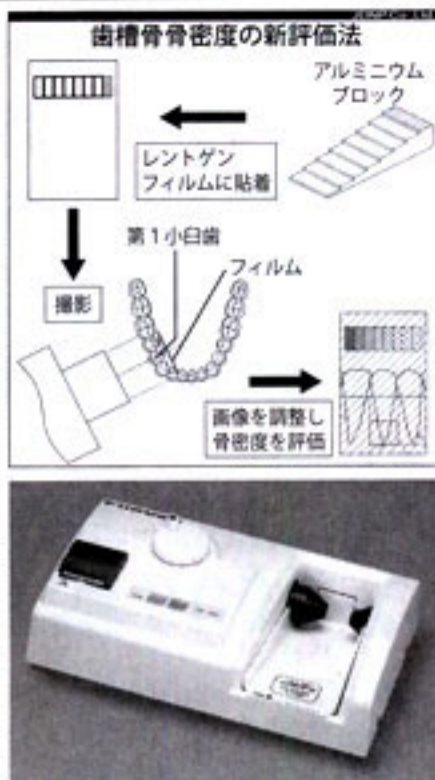
# 簡単評価法、製品化に急ピッチ

## 歯科での骨粗鬆症スクリーニング

歯科で行う骨粗鬆症スクリーニングの有効性を明らかにした、WHO骨粗鬆症対策委員の森井浩世氏(大阪歯科大学客員教授)と高石佳知氏(兵庫県開業)らの研究論文が、米・学術誌「オステオポロシスインターナショナル」に掲載されたことを記念し、16日、大阪市内のホテル「ザ・リッツ・カールトン大阪」でパーティーが開かれた。同雑誌は骨粗鬆症の分野で、国際的に最も権威ある雑誌とされている。

### 記念パーティーでシステム公開

研究は骨粗鬆症の一般的な槽骨の吸収度に相関があることと、歯のかかとの骨密度と、歯槽骨密度の新評価法



研究は骨粗鬆症の一般的な槽骨の吸収度に相関があることと、歯のかかとの骨密度と、歯槽骨密度の新評価法

研究は骨粗鬆症の一般的な槽骨の吸収度に相関があることと、歯のかかとの骨密度と、歯槽骨密度の新評価法



森井氏



高石氏

9号に既掲載) 会場では、高石氏らが

度測定システムが公開された。従来からある歯科用パノラマX線写真を使用し、簡単に検査が行えるもので、現在製品化に向けて開発が急ピッチで進んでいるという。

発表した高石氏は、この歯槽骨の骨密度評価法を使うことで、歯科で骨粗鬆症のスクリーニングが行え、同症の早期治療と予防が可能になるとし、さらに、インプラントや再生治療などの最先端歯科治療のほか、歯周病や総義歯治療などでも、「歯槽骨及び顎骨の状態に依じた、より根拠に基づいた歯科治療が可能になる」と、同評価法がもたらす歯科医療への効果を語った。

そして、同評価システムと予防が可能になるとし、さらに、インプラントや再生治療などの最先端歯科治療のほか、歯周病や総義歯治療などでも、「歯槽骨及び顎骨の状態に依じた、より根拠に基づいた歯科治療が可能になる」と、同評価法がもたらす歯科医療への効果を語った。

森井氏は、同研究及び評価法について、同症の分野で「日本ここにあり」と言えるまでに研究を高

めていきたい」と、今後の意欲を語った。

大阪歯科大学の今井久夫学長も訪れ、研究への期待を述べた。会場には共同研究者の同大の池尾隆教授のほか関係者が多数参加した。

なお、パーティーの世話人は、研究に使われたかかとの超音波骨密度測定装置を製造する古野電気と、販売元のエルクコーポレーション。

円、セミナー会員1万2600円。定員30人。申し込みと問い合わせは同社☎086(420)0001まで。

## 日本歯科骨粗鬆症研 第4回学術大会に過去最多の演題数

日本歯科骨粗鬆症研究会(森井浩世理事長)の第4回学術大会・総会(野口俊英大会長)が3月5日、愛知学院歯学部の特元校舎で開催される。テーマは「お口の健康とからだの健康への架け橋―歯周病と骨粗鬆症の関係から」。

同研究会は口腔疾患と骨粗鬆症の関係や咀嚼・咬合が全身に及ぼす影響などについて、

田俊彦教授による「歯周病と腎臓病との関連性」や、広島大学歯学部の田口明講師の「パノラマX線写真による閉経後女性の骨粗鬆症スクリーニング」などがある。

また、大会テーマと同名のシンポジウムでは、名鉄病院婦人科の細井延行部長や兵庫県開業の高石佳知氏ら3人がディス

カッションする。その他、企業展示や市民フォーラムもあり、一般人向けに無料の口腔衛生指導や口臭測定、骨量測定なども行われる予定。

詳細は事務局☎052(759)2150、ホームページhttp://perio.den-taiichi-saku.in.ac.jp/DAOS/#p

3月5日(愛知)

◆「日本歯科放射線学会第202回関東地方会」3月4日(土)午後2時から、田辺製菓東京事業所、バンクラディッシュにおける歯科放射線の現状(第1報)「嚙下運動に対するMR動態画像条件の検討」など多数の発表。問い合わせは昭和歯科大学放射線学教室☎03(3787)115

セミナー